

Excel セキュリティフレームワーク（dbSheet 版）

企業における Excel 運用を安全に行うために、**セキュリティ・統制・運用の 3 つの観点**から Excel を管理するフレームワークです。dbSheet を活用することで、Excel を**統制された業務システム**として運用できます。

1. Excel セキュリティフレームワークの全体構造

Excel セキュリティは次の **3 層構造**で考えます。

① データ統制（Data Control）

データの保護・一元管理

② 操作統制（Operation Control）

ユーザー操作の制御と監査

③ システム統制（System Control）

システム運用・管理体制

この 3 層により、Excel 運用のセキュリティを確保します。

2. データ統制（Data Control）

目的

データ分散・情報漏えいを防ぐ

主な対策

- ・データベース一元管理
- ・ローカル保存防止
- ・バックアップ／リストア
- ・データ暗号化
- ・最新版管理

dbSheet 実装

- ・ データはサーバーDB 管理／Excel は入力画面のみ／DB アクセス制御／データ集中管理

3. 操作統制（Operation Control）

目的

ユーザー操作の制御と監査

主な対策

- ・ユーザー認証
- ・アクセス権限管理
- ・操作ログ

・更新履歴管理

dbSheet 実装

- ログイン認証／端末認証／メニュー権限／ボタン権限／セル単位権限／監査ログ

4. システム統制 (System Control)

目的

システムの安全な運用管理

主な対策

- ・開発者と管理者の権限分離
- ・Excel テンプレート管理
- ・通信セキュリティ
- ・システム監査

dbSheet 実装

- 開発者／管理者の権限分離／テンプレートサーバー管理／HTTPS 通信／操作ログ・監査証跡

5. Excel セキュリティ 10 原則との関係

Excel セキュリティフレームワークは、Excel セキュリティ 10 原則を実装する仕組みです。

分野	内容
データ統制	データ一元管理
操作統制	権限管理・操作ログ
システム統制	権限分離・通信セキュリティ

6. まとめ

企業の多くの業務は Excel で行われています。しかし Excel は本来、統制を前提にしたシステムではありません。dbSheet は、データ統制／操作統制／システム統制を実現することで、Excel を「**安全な業務システム**」として運用可能にします。